

地方創生加速化交付金 K P I 達成状況 (経過一覧)

資料6

| 事業名 | 事業における重要業績評価指標 (KPI) | 担当部署 (係名) | 事業実施前数値 ※実施計画より | 事業年度 (H28) 実施結果 | | | | H29実施結果 | | H30実施結果 | | R1実施結果 | | | | (参考) 数年後 | |
|---------------------------|---|------------------------------------|-----------------|-----------------|-------|----------|-----------------|---------|-----------------|---------|-----------------|--------------------------------------|-----------------|--|--|----------|--------|
| | | | | 当年度指標値 | 実績値 | 当年度進捗率※1 | 数年後指標値に対する進捗率※2 | 実績値 | 数年後指標値に対する進捗率※2 | 実績値 | 数年後指標値に対する進捗率※2 | 実績値 | 数年後指標値に対する進捗率※2 | 実施担当部署 実施にあつての自己評価及びコメント | 備考 | 指標値 | 年月 |
| 学校・地域・企業連携によるみらいの人材育成推進事業 | 学校と協働した農業体験に参加した町外からの参加者数 (単位:人) | 生涯学習課 (生涯学習係) | 0 | 50 | 90 | 180.0% | 90.0% | 70 | 70.0% | 50 | 50.0% | 48 | 48.0% | 地元の方々のご協力により、田んぼの学校は6回、野菜塾は3回実施した。町外からの参加者は昨年度と比べ微減である。今後指標値である100人以上を達成させるためには、これまで以上のPRや、農業担当部署との連携を深める等、周知方法の改善を引き続き図っていく必要がある。また、近年の気象状況や、温暖化による、屋外活動危険と判断される場合が予想されるため、実施内容や時間帯の見直しも検討を要する。 | ・田んぼの学校:町外36人 (大人108人、子ども136人 総数244人) ・野菜塾:町外12人 (大人33人、子ども45人 総数78人) | 100以上 | 令和3年3月 |
| | 地域連携・ICTを活用して企画・開発・販売した物産品等の年間売上高 (へごやま茶、お米、スイーツ) (単位:千円) | まちづくり課 (まちづくり推進係) ※その他あり (企画課・農林課) | 461 | 2,300 | 4,208 | 183.0% | 105.9% | 7,849 | 208.8% | 5,192 | 133.7% | 5,310 (まちづくり) 2,466 (農林) 2,844 | 137.0% | (まちづくり) 各種イベントやキャラバン活動を展開し、特産品の知名度向上と販路拡大を図った。「麒麟がくる」や地元出生の武将「可児才藏」に関連したオリジナルの特産品の開発のほか、新たな事業者の発掘も展開した。引き続きネット販売を意識したマーケティングなどを模索しさらなる販路拡大を目指していく。 (農林) HPの開設や各種イベントへの出店、各種イベント等でのPRにより、みたけ味噌・ごへだ味噌とともに大きな変動はない。電話注文やHP通販なども増えてきており、今後の販路拡大に期待ができる。 | | 4,000以上 | 令和3年3月 |
| | クラウドファンディングにより実現した事業・プロジェクト数 (単位:件) | 企画課 (企画調整係) | 0 | 3 | 0 | 0.0% | 0.0% | 0 | 0.0% | 3 | 20.0% | 5 | 33.3% | セミナーを5回実施し、累計56名の参加があった。クラウドファンディングについては新たに2件の挑戦が成立し、5件の合計で約150万円の資金を集め、プロジェクトを実現させた。また、令和2年度には1件のプロジェクトが公開見込みとなっている。また、挑戦へ向けた支援体制を確立するため、企画課内に相談窓口を設置する。 | | 15以上 | 令和3年3月 |
| | 工業団地従業員の町内居住割合 (単位:%) | まちづくり課 (まちづくり推進係) ※その他あり (企画課) | 21.1% | 23.0% | 19.1% | 83.0% | -22.5% | 20.9% | -2.2% | 22.2% | 12.4% | 21.1% | 0.0% | 本社からの出向者や期間従業員等の雇用状況により変動したものと考えられる。今後も引き続き、地元高校生を主体にキャリア教育事業を展開し、工業団地内企業の魅力発信や町内就業の意識高揚など若い世代の人材育成に努める。 | | 30.0%以上 | 令和3年3月 |
| 地域資源を活用した観光誘客推進事業 | 観光入込客数 (単位:万人) | まちづくり課 (まちづくり推進係) | 50 | 52 | 51 | 98.1% | 20.0% | 49 | -20.0% | 47 | -60.0% | 公表前 | — | 麒麟がくるの放送に合わせ、ゆかりの地を巡る来訪者の増が期待されたが、名鉄ハイキングやひなまつりイベントの自粛など集客率の高いイベントの中止により前年比減となる可能性が高い。 | 県観光入込客数 (公表前) | 55 | 令和3年3月 |
| | 外国人観光客数 (単位:人) | まちづくり課 (まちづくり推進係) | 219 | 500 | 800 | 160.0% | 32.6% | 800 | 32.6% | 850 | 35.4% | 700 | 27.0% | 民間の旅行企画による外国人ウォーカーが御嶽宿界限、中山道を中心に賑わいを見せている。近年は外国人観光客は増加傾向にあるが、昨年度は新型コロナウイルスなど外的要因の影響を受け減少に転じたと思われる。 | ※左記実績の内、御嶽宿わいわい館に訪れた外国人観光客数:436人 | 2,000 | 令和3年3月 |
| | 古民家を活用した交流拠点施設数 (単位:箇所) | まちづくり課 (まちづくり推進係) | 0 | 0 | 0 | 0.0% | 0.0% | 0 | 0.0% | 1 | 100.0% | 2 | 200.0% | 古民家を改修した施設新たに滞在型農業体験を推進する「コミンカホテル四季の家」を5月にオープンし、事業を展開している。また、御嶽宿界限の古民家について、民間活力(民間資金)による活用の可能性について探る意見交換会を開催し、実際に活用を考えるプレーヤーの発掘を行った。引き続き地域の賑わい創出のため、歴史文化資源の活用・磨き上げに努めていく。 | 御嶽宿柏屋 | 1 | 令和3年3月 |

※1 「当年度進捗率」 = (実績値 - 事業実施前数値) / (当年度指標値 - 事業実施前数値)

※2 「数年後指標値に対する進捗率」 = (実績値 - 事業実施前数値) / (数年後指標値 - 事業実施前数値)